

勝手に決めました、7月第5日曜日も「狂言の日」。

夏休みは、 こどもも おとなも こども狂言堂。

2023年7月30日(日)午後2時開演
(午後1時開場)

狂言「柿山伏」(大蔵流)山本 則秀

狂言「清水」(大蔵流)山本 則重

お話 山本 東次郎

普及公演
こども
狂言堂

- チケット料金
こども(18歳以下):500円(全席指定)／おとな:2,200円(全席指定)
- チケット発売
こども:2023年5月13日(土)正午から(初日は電話のみ)
※お子様と同伴のおとな券もご購入いただけます。
おとなのみ:2023年6月10日(土)正午から(初日は電話・WEBのみ)
※チケットのお取り扱いは電話・来館・WEBとなりますが、
WEBでのお申込み受付は6月10日からとなります。
(友の会先行(こども):5月4日(木・祝)～5月7日(日)(おとなのみ):6月1日(木)～4日(日))
- お申込み・お問合せ
横浜能楽堂
〒220-0044 横浜市西区紅葉ヶ丘27-2 電話:045-263-3055 (9:00～18:00)

横浜能楽堂

主催:横浜能楽堂(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)
助成:文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等活性化・ネットワーク強化事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会

普及公演 こども 狂言堂

日本の古典芸能「狂言」。「狂言ってなんだか難しそう…」と思うかもしれませんが、狂言には、現代の私たちでも身に覚えのある振る舞いや、つい共感してしまう心の動きが描かれていて、いちど観てみると親しみがわく人も多いはず。横浜能楽堂で毎月第2日曜日に開催している人気企画の「横浜狂言堂」。夏休みは特別に、こども向けの「こども狂言堂」を開催します。演目は、柿を盗んだ山伏が動物のものまねで何とかごまかそうとする「柿山伏」と水をくみに行きたくない太郎冠者が鬼のふりをして主人をおどそうとする様子が面白い「清水」の2曲。狂言を初めて観るこどもたちでも楽しめる2曲を鑑賞後、人間国宝・山本東次郎が「狂言の面白さ」を楽しく分かりやすくお話します。600年以上の長い間演じられ続け、世界遺産に登録された「狂言」の奥深い魅力を、こどももおとなも一緒にお楽しみいただける公演です。

かきやまぶし
狂言「柿山伏」(大蔵流)

シテ(山伏) 山本 則秀

アド(柿主) 山本 則孝

しみず
狂言「清水」(大蔵流)

シテ(太郎冠者) 山本 則重

アド(主) 山本 凜太郎

お話 山本 東次郎



かきやまぶし 柿山伏

修行を終えて国に帰る途中、おなかですいてしまった山伏。柿の木をみつけたので、さっそく登って柿を食べ始めますが……

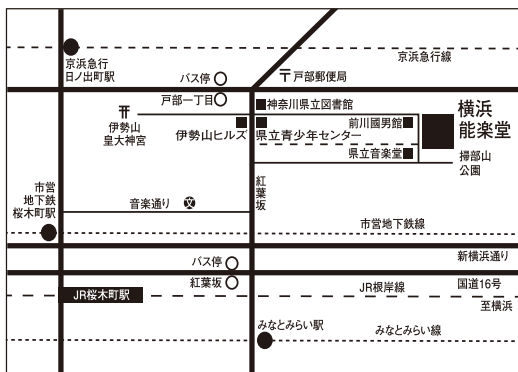
しみず 清水

主人に水を汲んでくるよう命じられた太郎冠者。たびたび行かされては迷惑と思い、清水に鬼が出たと嘘をつきますが……



やまもと どうじろう 山本 東次郎

狂言方大蔵流。1937年生まれ。三世山本東次郎の長男。武家式楽の伝統を受け継ぐ山本東次郎家当主。著書に「狂言のすすめ」「狂言のことだま」など。2007年日本芸術院賞受賞等受賞多数。2022年文化功労者。重要無形文化財各個認定保持者(人間国宝)。



<交通のご案内>

電車 JR「桜木町」下車北改札・西口徒歩12分、市営地下鉄線「桜木町」下車南1出口より徒歩12分／みなとみらい線「みなとみらい」下車徒歩20分／京浜急行線「日ノ出町」下車徒歩15分

*タクシー利用は各駅とも約5分

バス バス停「戸部1丁目」(市営バス103、292系統)下車徒歩5分／バス停「紅葉坂」(市営バス:8、26、58、101、105、106系統・神奈中バス:横43、横44、港61系統・京急バス:110系統)下車徒歩9分

※駐車場・駐輪場はございませんので、ご来場の際には電車・バスをご利用ください。

※内容・出演者が変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

※客席への飲食物の持ち込みはご遠慮ください。

※お買い求めいただいたチケットは公演中止の場合を除き、変更払い戻しはいたしません。

※公演中止の場合に、旅費等の補償はできません。チケット券面額以外は一切ご返金できません。

横浜能楽堂 〒220-0044横浜市西区紅葉ヶ丘27-2 TEL 045-263-3055
https://yokohama-nohgakudou.org

